

第26回高知地学研究会巡検報告

「どしゃ降りの鳥形巡検」

森岡 美和

去る平成20年9月15日（月）・・・すっかり遠い昔になってしまいましたが、『大割引！四国のでっぺんこじゃんと満喫ツアー』についてご報告申し上げます。

いったいどなたが雨女はたまた雨男だったのか、大変な巡検におつきあいくださいました参加者の皆様、本当にありがとうございました。

当日は、高知大に集合した時点で、鳥形山見学中止がわかっておりましたが、もしや！の望みを抱きながら出発したことでした。しかし、西に行けばいくほど、天候は荒れ気味で、途中からは、無事に帰れるように！と、祈るような気持ちでした。

途中、道案内が不案内で、バスが行き止まりの道を引き返すというハプニングもありましたが、鳥形山への登山途中にみられました砂岩泥岩等堆積層・玄武岩（枕状溶岩）・石灰岩の露頭は、付加体の象徴的なもので、堆積環境を想像するには最適のロケーションだったのではないのでしょうか？そして、弁巧みなる講師でいらっしゃいます吉倉先生の、「ウソのようなホントの話」に、今まで景色の中に埋没していたそこいらじゅうの岩石どもが、光を放ち、ドラマを語り出したかに思われました。

鳥形山はすっぱりしっぱり雲の中・・・、鳥形山森林植物公園下で昼食休憩となりましたが、やはり雨。せめて、展望台から雲が切れて採石場が見られるのではないかという一縷の望みも虚しく、雲海の上で吐息が雲のように広がっていくばかりでした。

もうこの辺りまで来ると、どなたのお顔にも疲れが見え始め、幹事もちょっとあせってまいりました。

そしてさわやかな風と緑の中、絶叫の見所、「大引割・小引割！」のはずなのですが、辺りが薄暗く感じるほど、雲が迫って参りまして、不安の裂け目のように大地が裂けていま

すところを、皆さん怖々とのぞき込んでいらして、雨で濡れた落ち葉に足を滑らしはしないかと、こちらもハラハラしながらご案内をさせていただきました。晴れていれば、裂け谷の底まで下りていけるオプションがあったのですが、残念！しかしながら、この大地の裂け目は、初めて見る者には驚きを隠せない大地の運動を見せつける場所であったと思います。このような現象は、ほかの場所でも起こらないわけではないのですが、一般的に堆積物が流入するなどして跡が消え去っていくものです。

さて、今回の巡検報告は、このあと会員さんよりのメールコーナーを設けさせていただきます。皆さんの生の声をどうぞお楽しみください。

わがままに、参加させていただいて有り難かったです。あいにくの雨は本当に残念でしたけれど、何億とか何千万年とかの悠久の世界が我が家にエネルギーをパワーを与えてくれるような気がします。今後ともよろしくお願いします。それと、私たちのために、あの雨のなか車で行かれた役員のお二人に感謝いたします。又、息子が道路に落ちていた岩石を拾ったところ、新聞とビニールを下さった方にお礼も言わずでした。申し訳ありません。ガチャガチャなんだか落ち着きのない家族かも知れませんが、今後ともよろしくお願いします。 菅野

10月6日の月曜日、夕方6時10分からの高知まるごと情報市で天空の鉱山「鳥形山」を訪ねるの見学ビデオが放送されます。鳥形山は行けませんでした、大引割・小引割へ行ったビデオが放送されます。皆で見て下さい(*^ー^*)

天気が悪く鉱山へ行けなかったのが残念でしたけど、勉強になりました。来年は鳥形山鉱山リベンジを期待しています。(*^ー^*)

大引割で写した綺麗に写った集合記念写真2枚を送ります。＜次ページの写真＞

また感想を、僕のヤフーブログ、シロピー日記に写真記事にしています。オープンなので誰でも見れます。良かったら見て下さい。「シロピー日記と検索」 佐藤

鳥形山巡検はお世話になりました。

石灰石の山とばかり思っていたのですが、玄武岩や枕状溶岩が標高の高い場所に在り大変驚きました。いままでフラットな場所でのものしか見学していないものですから瞬間的には“エッこんな所に？”と耳を疑いました。吉倉先生の懇切な説明で理解ができました。

大引割・小引割はアイスランドの地割れ（ギャオ）に似ており、日本版ギャオと称してもいいような雰囲気を持っていました。国の天然記念物に指定され地図にも記載されているのに、なぜ日本の地質百選に選ばれないのか不思議です。

今回は雨中の巡検でしたが私には大変な勉強になりました。

これからもよろしくお願いします。 筒井庸介

大原です。 昨日は、ご苦労様でした。
感想といいますか、長者？の地滑り地帯の話が聞けなくて残念でした。
次回、鳥形山リベンジの際にご案内いただけるかと、期待しています。

先日は、お天気が悪く、ほんとうにご苦労様でした。
鳥形山の巡検をまたの機会にぜひお願いします。バスの移動は、まとまって良かった
と思います。私は、いつも巡検が楽しみです。岡村恵子

